

(3) 県負担・補助率の考え方

国家としての戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御霊を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継いでいく。

(4) 類似事業の有無

他に類似事業無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	623	全国、沖縄及び南方諸地域戦没者追悼式等への参列旅費
需用費	72	コピー代、一般消耗品、全国追悼式供花、県追悼式案内状印刷等
役務費	70	県追悼式仮設トイレ汲取り料等、通信運搬費（電話、郵便料）
委託料	5,746	県追悼式会場設営委託、慰霊塔等の維持管理
使用料及び賃借料	151	使用料及び賃借料（バス借り上げ料等）
合計	6,662	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

国… 全国戦没者追悼式(8月15日) 太平洋戦争で亡くなった戦没者を悼み、その御霊を慰める。遺族約6,000人が出席する。予算：150百万
他県…同様の事業を実施。

(2) 後年度の財政負担

毎年度、予算の範囲内で対応

(3) 事業主体及びその妥当性

国家としての戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御霊を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継いでいく追悼式を県として実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御霊を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継ぐ。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

戦没者を追悼することで戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるものであり、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	追悼式の実施などにより、戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えた。 ・全国戦没者追悼式 令和2年 8月15日（土）岐阜県遺族11名参加 ・岐阜県戦没者追悼式 令和2年 10月23日（金）参加者 約50名
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	追悼式の実施等により、戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えることが必要。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	毎年度戦没者追悼式を挙行し、戦没者の方々を慰霊するとともに、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えることができおり、効果が得られている。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	各追悼式を年1回実施

(今後の課題)

戦後75年以上を経過した今、戦争体験や戦争の悲惨さ、平和の大切さについて、風化させることなく後世に受け継いでいく必要がある。
--

(次年度の方向性)

戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるため、今後も引き続き実施。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	